

## 旭中 研究だより

4月号

延岡市立旭中学校  
研究主任 與田 智恵子

新年度が始まり、全校生徒206名と職員23名で新生旭中学校として新たな気持ちでスタートしました。本年度、旭中学校では「学びに向かう力」と「読解力」について研究に取り組んでいます。



「学びに向かう力」とは、来年度より施行される新学習指導要領において、育成を目指す3つの資質・能力のうちの1つです。「何のためにその教科を学ぶのか」「その教科でどんな力を身につけたいのか」について考え、学びから得たことを、また次の学びや今後の社会・人生に活かそうとする力のことを「学びに向かう力」といいます。

新しい学年のスタートにあたり、各教科の最初の授業で、生徒自身が「なぜその教科を学ぶのか」を考え、今学んでいることが自分たちの今の生活や、これからの社会にどうつながっているのかについても考えました。また、教師自身もそれぞれの教科での願いや思い（教科をどう人生や社会に活かしてほしいのか）を伝えました。さらに、臨時休校中の課題では、各教科で「学びに向かう力」につながるような内容がそれぞれ工夫されています。

1学期は「学びに向かう力」を中心に、夏休み以降には「読解力」を中心に研究を深めていく予定です。全生徒・全職員が夢や希望をもって学校生活を送り、キラキラと輝きながらたくましく社会を生きていくことができる力につながる研究を目指していきたいと思います。

旭中学校令和2年度 研究主題  
「今求められる資質・能力の育成」  
～学びに向かう力と読解力を育むための指導をとおして～